

にしのおいけ

社会福祉法人 平成会
西の池学園

住所 東広島市高屋町小谷 5001-5
TEL (082) 434-0405
FAX (082) 434-5599
メール heiseikai@nishinoike.or.jp
HP <http://www.nishinoike.or.jp/>
編集 (社福) 平成会 広報部
発行者 (社福) 平成会理事長 赤坂 秀則

第 78 号
(平成 28 年 10 月 1 日)



ふれあいまつりで「くじ」の店 デイセンターこだま

あおぞらぱん屋さん

あおぞらぱん屋さんでは、他の福祉施設の手作り商品も多数販売しています。

【森の輝舎】
木製ティッシュBOX
白木で作ったティッシュBOX。
御購入後に自宅で好きな模様をペインティングして使われる方もいらっしゃいます。



【西の池学園】
陶芸品
いろいろな種類の中から、お気に入りが見つかると思います。お手頃な価格で販売しています。



【しゃくなげファーム】
あねさんかぶりてぬぐい
三角巾とほおかむりの間の商品で、完全オリジナルです。季節にあった柄のてぬぐいを使って手作りしています。



これからも、いろいろな商品を紹介します。お楽しみに……



平成会サークル活動

平成28年4月よりフットサルチームを結成しました。20代～40代の幅広い年齢層の職員が週1回、仕事終わりに汗を流しています。仕事で培ったチームワークを生かし、大会での優勝目指して頑張っています。



みんなで頑張るぞー！



練習に熱が入ります！



決算報告書

平成27年度 貸借対照表(法人全体)
平成28年3月31日現在

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
流動資産	424,500	流動負債	49,308
固定資産	2,173,421	固定負債	26,396
		負債の部合計	75,704
		基本金	58,220
		国庫補助金等特別積立金	386,379
		その他の積立金	528,880
		次期繰越活動収支差額	1,548,738
		純資産の部合計	2,522,217
資産の部合計	2,597,921	負債及び純資産の部合計	2,597,921

平成27年度 事業活動計算書(法人全体)
(自)平成27年4月1日
(至)平成28年3月31日

科目	金額
サービス活動増減の部	
サービス活動収益	902,415
サービス活動費用	730,115
サービス活動増減差額	172,300
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益	7,552
サービス活動外費用	1,012
サービス活動外増減差額	6,540
経常増減差額	178,840
特別増減の部	
特別収益	1,530
特別費用	1,530
特別増減差額	0
当期活動増減差額	178,840
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額	1,386,097
当期末繰越活動増減差額	1,564,938
その他の積立金取崩額	162,000
その他の積立金積立額	178,200
次期繰越活動増減差額	1,548,738

平成27年度 資金収支計算書(法人全体)
(自)平成27年4月1日
(至)平成28年3月31日

科目	金額
事業活動による収支	
事業活動収入	909,968
事業活動支出	684,588
事業活動資金収支差額	225,380
施設整備等による収支	
施設整備等収入	1,530
施設整備等支出	178,723
施設整備等資金収支差額	-177,193
その他の活動による収支	
その他の活動収入	163,566
その他の活動支出	181,184
その他の活動資金収支差額	-17,618
当期資金収支差額	30,569
前期末支払資金残高	376,555
当期末支払資金残高	407,124

暑かった夏

今年は本当に暑い夏でした。オリンピックで日本選手の活躍ぶりに熱狂し感動したということもあって、余計暑く感じたのだらうと振り返っています。7月、20回目を迎えた西の池学園ふれあいまつりも沢山の方に足を運んで頂き大盛況で、こちらも感動しました。感動とは、「美しき、素晴らしいに接して強い印象を受け、心を奪われること」と大辞林に解説されています。相田みつをさんの「感動とは感じて動く」と書く「だなあ」という作品をご存知の方もいるかと思いますが。プロ野球では、25年ぶりのリーグ優勝へ神がかり的な逆転勝利を重ねたカープの試合にも感動しました。8月初旬だったと思います。エラーで逆転負けした時、中国新聞「球炎」欄に「本当に強いのはミスを犯さないチームではない。ミスを立て直し、取り返せるチームである。互いの失敗もカバーし合うことができたらなおさら良い。これからの正念場」という趣旨の解説がありました。その後カープは結果を出し続け、8月後半にはマジックナンバーが点灯したこともあって、印象に残っています。「ミスを立て直し、取り返す。互いの失敗もカバーし合うことができる本当に強いチーム」になるまでの大変な道のり、その上で結果が出せたことを思うと、壮絶さの中に尊さを感じ心が動きます。

感動は期待度の大きさに決まるものでもありません。良くも悪くも、福祉制度は毎年のように変わっていく状況ですが、我々の取り組みが利用いただく方々の期待を裏切るものがないよう、手の行き届いていないところをしっかりと立て直し、恐れず新しいことに挑み、本当に強いチームを作りたいと職員共々真摯に考えています。ご意見をいただきながら、地に根を張り続けたいと思います。